

“生きる歓びを、未来の景色に。”を実現できる会社へ

最後までお読みいただきありがとうございます。

創業者 石橋信夫は、「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる」という考えのもと自分たちが新しい社会を創り出すという気概をもって新しい価値を提供してまいりました。本レポートの特集にもある通り、昨年当社グループでは創業100周年の2055年に、私たちが「創り出したい世界」と「果たすべき役割」である“将来の夢”（パーパス）を、さまざまなステークホルダーとの対話を重ねて策定しました。

私は、“将来の夢”を実現していくためには、自分たちの強みを活かしながら社会変化に柔軟かつ迅速に反応できるだけでなく、パーパス起点でモノゴトを考えられる多様な人財の活躍が必要不可欠だと考えています。そのためには、まずは当社グループの全従業員が「働きがいと誇りを実感できる」会社にならなければならないと考えています。未来に向けて守るものと変えていくもの、その2軸で今ある企業文化と風土をよりよく変革させ、ステークホルダーの皆さまに満足をお届けることのできる企業群へと進化してまいります。

「未来の景色をよりよいものにしていきたい」、私たちはその想いをもって、2055年に向けた新たな一歩を踏み出してまいります。

最後に本レポート制作にご協力いただきました関係者の皆さまをはじめ、本レポートをお読みいただいた皆さまに心より御礼申し上げます。当社グループの環境・社会・ガバナンスに関する考え方や取り組みについて、ご理解を深めていただき、これからも大和ハウスグループへさらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大和ハウス工業株式会社
常務執行役員
サステナビリティ担当

石崎 順子